

ELGARD

エルガード通信

2007年7月号

【発行】日本エルガード協会広報委員会
(事務局)東京都千代田区六番町6-28
住友大阪セメント(株)建材事業部内
TEL03(5211)4756 FAX03(3221)5183
office@elgard.com

平成19年度スタートにあたり

LCM委員長 東洋建設(株) 佐野 清史



この4月に定時総会を開催し、日本エルガード協会にとって7年目となる新年度がスタートいたしました。

当協会に関連する我が国の社会資本整備においては、国土交通省より、橋の耐用年数を予防的修繕で100年延ばす長寿化促進事業を本年度から始める方針が明らかにされ、また港湾施設についても、本年度の港湾技術基準改訂により予防保全の考えが盛り込まれた維持管理方針が打ち出されています。

エルガード工法の電気防食技術は、このような予防保全に十分応えうる技術であり、社会ニーズに合致した技術の普及を図るため、協会の役割はさらに大きくなると考えます。

このような観点から、本協会では、昨年より新たにLCM(ライフサイクルマネジメント)特別委員会を立ち上げ、構造物のライフサイクルにおいて電気防食工法が果たす役割を明確にする検討に着手しました。

また広報活動においては、これまでの技術講習会に加え、施設の維持保全に携わる方々との意見交換を深めるため、ディスカッションセミナーの開催を幾つか計画しております。

これらの活動は、エルガード協会の更なる発展に大いなる貢献をもたらすものと確信いたしますので、引き続き会員各社のご協力とご支援を賜りますよう、紙面を借りてお願い申し上げます。

平成19年度第1回理事会の報告

平成18年度第1回理事会が開催され、第7期定時総会議案(案)および記念講演会等について審議されました。

開催日時など

開催日時:平成19年4月26日(木)14時~15時
開催場所:泉ガーデンタワー 住友会館 44F 洋室1
出席者:茂田会長、今村副会長、佐野理事、柳田理事、白石理事、渡辺理事、小袋監事、正田広報委員長、内藤技術委員長、事務局

決議事項

- 下記報告事項は了承されました。
- 平成18年度第4回理事会議事録の確認
 - 書面理事会承認事項「役員改選の件」の確認
 - 第7期定時総会議案(案)について
 - 記念講演会について
 - 懇親会について

平成19年度第2回理事会の報告

役員改選の為、定時総会を中断し、平成18年度第2回理事会が開催され、全員留任で新役員が選出されました。

開催日時など

開催日時:平成19年4月26日(木)15時20分~15時40分
開催場所:泉ガーデンタワー 住友会館 44F 洋室1
出席者:茂田会長、今村副会長、佐野理事、柳田理事、白石前理事、正田新理事、渡辺理事、小袋監事、内藤技術委員長、事務局

決議事項

下記審議事項は承認され、全員留任となりました。株式会社ナカボーテックの担当者が、交代しました。(新)正田部長 (旧)白石部長に

1. 役員改選(案)の承認

日本エルガード協会第7期定時総会の報告

平成18年4月26日、泉ガーデンタワー 住友会館(東京)において、日本エルガード協会 第7期定時総会、記念講演会、懇親会が開催されました。

第7期定時総会

住友会館42F会議室で15時から開催されました。協会会員23社中22社出席で総会は成立し、下記の審議事項が承認されました。

- 第1号議案 平成18年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成18年度決算報告および会計監査報告承認の件
- 第3号議案 平成19年度事業計画承認の件
- 第4号議案 平成19年度収支予算承認の件
- 第5号議案 役員改選の件

記念講演会 「談合問題の帰結と土地神話の終焉 最近の話題から」

明海大学 不動産学部教授 長谷川 徳之輔

住友会館42F会議室で16時から開催されました。電気防食技術研究会主催の記念講演会では、明海大学不動産学部教授長谷川徳之輔様より「談合問題の帰結と土地神話の終焉 最近の話題から」と題して講演していただきました。講演では、結果の公平を求める日本では、談合は、商慣習化しており、機会の公平を重視し、弱肉強食社会を是認する米国の考え方は馴染まない、と指摘され、社会構造そのものが談合体質である日本は、寧ろ談合を容認し、オープンで競争性のある仕組みを制度化したオランダを参考にすべきとの提言を示されました。また、土地神話については、経済成長率と地価の関係を1900年から2000年の100年間のデータを基に、地価が経済成長率の上昇に引きずられることを指摘すると共に、一定期間のタイムラグの存在が、土地神話を生み、結果的に地価上昇率が経済成長率を上回ったにも拘らず、国もカジノ経済に加担してしまったことが、土地神話崩壊を招いた、と解説されました。

最後に、経済力は、最終的には人口の量と質に行き着くが、21世紀の日本経済と土地不動産を真剣に考えなければ



ならない、と結ばれました。有難うございました。

懇親会

住友会館42F会議室で18時00分から来賓18名を含む総勢90名の出席の下、茂田会長の開会挨拶に続き、新たに顧問となられた高知工科大学岡村学長の就任挨拶をいただき、道路保全技術センター多田顧問よりご祝辞と乾杯のご発声を賜りました。



懇親会は蒔田顧問の中締めに至るまで1時間半に亘り催され、和やかな雰囲気の中でお開きとなりました。

第4回JCPEコンクリート電気防食管理技術者養成講習&認定試験実施および結果の報告

平成19年6月12日、東京・大阪2会場で、「JCPEコンクリート電気防食管理技術者」養成講習&認定試験が実施されました。

養成講習

東京会場18名、大阪会場46名が受講しました。

講師

基礎編 東京:仲谷(ナカボーテック)、大阪:内藤(五洋建設)
設計編 東京:峰松(SOC)、大阪:真鍋(SOC)
施工編 東京:久(化工建設)、大阪:山本(SOC)
維持管理編 東京:渡辺(ピーエス三菱)、大阪:小袋(日本防蝕工業)
実技編 東京:峰松、仲谷 大阪:山本、真鍋、小袋

認定試験

東京会場26名、大阪会場64名が受験し、51名が合格しました。

新規入会会社から一言 (株)ケミカル工事 國川正勝

この度、エルガード協会に入会させて頂きました(株)ケミカル工事でございます。弊社は35年来コンクリート構造物の補修・補強を事業の中心に行って来ました。



弊社の業務内容は調査診断・補修補強設計・施工・検査及び機械施工の直営工事部門から構成されています。既設構造物の調査から施工・検査まで一連の流れで技術提供させて頂いています。機械施工では、「ジェコモシステム(ジェットコンクリート等特殊コンクリート・特殊モルタル・混練システム)・ウオ タージェットシステム・特殊ウレタン吹付けシステム・モルタル吹付けシステム」を実施しています。

特に補修工事では、土木構造物の施工実績が多くあります。その中で、棧橋等の塩害補修も多々経験して来ました。塩害補修後の再劣化も何度となく見てきました。それらの経験から電気防食のニーズが増加する事は間違いないと確信しています。

会員皆様のご指導・ご協力を頂きながら経験と勉強をし、当協会の発展に尽力する所存です。弊社は、九州(営)・広島(営)・神戸(本)・大阪(支)・名古屋(支)・東京(支)・東北(事)に事務所が在りますので気軽に声を掛けて下さい。宜しくお願い致します。

新理事から一言 (株)ナカボーテック 正田泰樹

私がエルガード協会の広報委員長に任命され、早4ヶ月が経過しました。就任前から、広報委員会の幹事として参加させて頂き、委員会活動の一端は理解していたつもりでしたが、立場を違えて広報活動に携わって見ると、運営の大変さ、大切さ、責任の重さなどが次々と分かってきて、今更ながら気持ちの引き締まる思いで業務をこなしている毎日です。



このような状態ですので、暫くは運営面でも委員の皆様にご迷惑をお掛けする事があるかも知れませんが、何卒ご容赦願います。

さて、エルガード協会の電気防食工法は、これからの維持管理の時代に向け、その要求に応えることの出来る技術ではありますが、今後技術の信頼性の向上を図り、採用実績を増やして行くためには、日頃の技術開発や研究といった取組みに加えて、より効果的(対象者)に、よりの確(要求内容)に、より広く(講習機会)広報活動を行う事が大切だと思います。

この意味から、今年度の広報委員会の活動は、より積極的に、効果的にを目標として「地域を特定した対話型セミナー」や「地元大学教授を迎えた技術講習会」、「メンテナンス・テクノショーへの出展」などを実施、計画しています。広報活動は今後ますます充実して行きたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力とご支援のほど宜しくお願いいたします。

委員会活動状況

技術委員会	技術委員長 内藤 英晴
技術委員会	6/28(33)
開発課題打ち合わせ	7/9
認定試験	
認定試験	6/12(火) 64名が受験。51名が合格。
運営WG	6/28
広報委員会	広報委員長 正田 泰樹

活動状況

広報委員会 6/8(44)、7/17(45)

今後の協会行事日程

日程	行事	備考
8/23	第45回広報委員会	
9/7	技術講習会2007 高松	ウエルシティ高松
9/19	LCMシナリオWG	
9/19	第46回広報委員会	
9/20	LCM資料WG	
9/28	土研暴露供試体現状調査	土研センター
10/12	技術講習会2007 仙台	エルパーク仙台

エルガ - ド通信に関する会員皆様のご意見をお寄せ下さい。